

様式第12号（第10条関係）

学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金実績報告書

2026年 3月 30日

NPO 法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 川原 淳一 様

住所 [REDACTED]
申請者 氏名 わこまるクラブ 相馬 哲也
電話 [REDACTED]

2025年 9月 19日付特恵活第31号で交付決定のあった学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金に係る実績報告について、恵庭市学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第10条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 協働事業の名称 : 体験学習「びかまる」
- 補助金交付決定額 50,000 円
- 補助対象事業の決算額 50,562 円
- 実施期間 2025年 9月22日 から 2026年 2月28日 まで
- 添付書類
 - 学生版まちづくりチャレンジ協働事業報告書（様式第13号）
 - 学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）
 - その他理事長が必要と認める書類



学生版まちづくりチャレンジ協働事業報告書

事業対象団体名	わかまるクラブ		
学生版協働事業の名称	体験学習「ぴかまる」		
実施期間	2025年9月22日から 2026年2月28日まで	実施場所	北海道文教大学ほか
事業の目的	恵庭市立和光小学校区を中心とした市内の全児童を主な対象とした学習活動を行い、豊かな経験の機会とするとともに、同小学校地区を中心とした地域社会の向上に努めることを目的とする。		
事業の実施状況	<p>【 体験学習「ぴかまる」 】</p> <p>①②③ぴかまるミニ 目的：算数だけではなく、いろいろな体験を通して興味関心を高めながら、学びを深める。 概要：学校の授業で学んできたことを活用した、体験活動を行う。 実施日時：9月26日、1月23日、2月13日 会場：恵庭市立和光小学校 定員：2、3年生各60名程度 参加費：0円</p> <p>④ハロウィーンイベント 目的：画用紙や袋、ストローなどを使ったお面作りや仮装を自由に工作で表現する。ハロウィーンの行事を楽しみながらまなび、工作を通して自分の表現力や創作力、共同性また、周りの子供たちと交流することによって思考力の幅を広げる。 概要：自分たちの表現方法で仮装をつくる、ハロウィンクイズ 実施日時：10月25日 会場：北海道文教大学 定員：4～6年生 20名程度 参加費：300円</p> <p>⑤音楽フェス 目的：普段触れることのできない楽器に触れ、様々な音楽文化への関心を育む。音楽や楽器の仕組みを理解し、楽器を使って仲間と協働しながら表現する力を育てる。 概要：ミニコンサート、楽器クイズ、ボディーパーカッション、指揮者体験 実施日時：11月8日</p>		

	<p>会場：北海道文教大学 定員：4～6 年生 20 名程度 参加費：100 円 ⑥障がい者体験 目的：障がいのある方の視点や感じ方について理解を深める。 日常の中で困っている人に対して自分にできる配慮や手助けの方法を考えられるようにする。 概要：視覚・聴覚障がい、肢体不自由の体験をする。 実施日時：12 月 13 日 会場：北海道文教大学 定員：4～6 年生 20 名程度 参加費：300 円 ⑦防災キャンプ 目的：ゲームを通して避難所の運営の難しさや重要性を学ぶ。9 月 1 日の防災の日になみ防災の意識を持ってもらう。 概要：難所運営ゲーム（HUG）を体験する。簡単にできる防災食をクッキングする 実施日時：1 月 24 日 会場：北海道文教大学 定員：4～6年生 20名程度 参加費：500 円 ⑧お楽しみ会 目的：レクリエーションを通して、楽しみながらチームで協力・協働するレクリエーションを通して、他校の児童やスタッフとの仲を深める。 概要：レクリエーション、卒わこまる式 実施日時：2 月 8 日 会場：北海道文教大学 定員：4～6 年生 20 名程度 参加費：300 円</p>
<p>事業による 成果・効果</p>	<p>子どもたちが楽しく学べる活動を行うことができた。防災体験や福祉体験、季節のイベントなどを通して、新しいことを知ったり、友達と協力したりする姿が多く見られた。また、学校ではできない体験を通して、子どもたちのやる気や自信につながった。大学生にとっても、子どもと関わりながら学ぶ良い機会となった。</p>
<p>次年度以降の 事業の見通しと課題</p>	<p>活動は充実しているが、準備不足や、話し合いが足りないことがあった。来年度は早めに計画を立て、役割をはっきりさせることが大切である。また、わこまるの活動内容が十分に伝わっていない部分もあるため、SNS の発信を工夫し、保護者にも活動の様子を見てもらえる機会を作りたい。続けていくための仕組みづくりが今後の課題である。</p>

様式第14号(第10条関係)

学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

1 収入

(単位:円)

項目	金額		備考
	予算	決算	
補助金	50,000	26,262	
参加費	37,500	24,300	延べ参加人数 77人
合計	87,500	50,562	

2 支出

(単位:円)

項目	金額		備考
	予算	決算	
消耗品費	46,000	10,105	
保険料	5,040	8,320	レクリエーション損害保険
印刷製本費	1,960	970	印刷代
食糧費	12,000	31,167	④ハロウィーンイベント ⑦防災キャンプ に係る食糧品
使用料及び賃借料	22,500	0	
合計	87,500	50,562	

備考) 領収書の写しを添付してください。

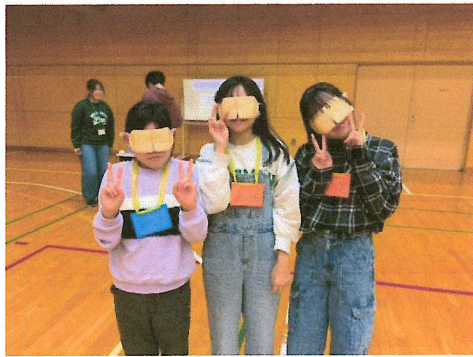
ハロウィーンイベント



音楽フェス



障がい者体験



防災キャンプ



お楽しみ会

